

交遊抄

政府の「新しい公共」推進会議メンバーの藤岡喜美子さんは、私が代表理事を務めるNPO法人、市民フォーラム21・NPOセンター(名古屋市の古鷹市)の事務局長。コンビを組んで約7年になる。2009年からは公益社団法人、日本サードセクター経営者協会(東京・渋谷)でも組んで活動している。

互いに非常に気持ちよく仕事ができる相手だと思っているが、周りではなぜあの2人が組んでいるのかよく分からないという声もあるらしい。

同じ年だという点を除けば、コンビを組むまでの経歴は非常に対照的である。

死語になりつつある保

保守のコンビ

守と革新という言葉を使えば、NPOの世界にドブアツリつかるとなるまで、私が革新の文化圏の中で社会運動や研究に関わってきたのに対し、藤岡さんは保守の世界のまっただ中で活動してきた。大手保険会社勤務を経て専業主婦になった後、30代で婦人会長を務め、地区推薦の町議会議員になっている。

日本のNPOは冷戦終えんの産物ともいえるので、元革新と元保守のコンビは「らしい」のかもしれない。NPOイコール市民運動という誤解を越えて、社会を委ねる強力な事業体へと成長するためには、こうしたコンビが機能することは大きな強みになるはずだ。(こうしん・さきお井 名古屋大学教授)

雄 房 後

日経 2013年3月14日